5　地域まちづくり推進協議会への意見聴取

○　意見聴取期間　　令和５年１０月４日から令和６年２月７日まで
○　意見提出者及び意見数　　１２人から２３件
※　書面にていただいた御意見につきましては，基本的に原文のとおり記載していますが，会議当日に発言のあった意見等を含め一部要約・修正等を行っています。なお，意見については「目指す地域像」の項目ごとに整理しています。

意見No.	受付No.	関連する目指す地域像		寄せられた意見
17	11	1	個性や多様性を互いに受け止めその人らしく暮らすことができる地域	○近い将来，今の小・中学生は福祉の重要な担い手となる。今から家庭・学校・地域で活動する機会や場を設けて，関心を持ってもらうことが大切である。
1	1	2	一人一人が自分らしく活躍し協力して課題解決を目指す地域	○同じ市内でも中心部と郊外部では困りごとが異なる。例えば郊外部では（病院の）送迎が問題となっており，その辺の記載が計画になされるとよい
3	3	2	一人一人が自分らしく活躍し協力して課題解決を目指す地域	○各地域福祉活動団体の役割はこれまでそれなりに把握し，今後も押さえていかなければならないと思うが，各機関の連携をどうすればよいか見えるようで見えない。また，各機関に携わる担当者の欠員や高齢化なども課題となっている。
5	4	2	一人一人が自分らしく活躍し協力して課題解決を目指す地域	○町内会の加入や地域福祉活動の参加は，軒並み低調で特に若い世代では顕著であると言える。一方で，これからの地域福祉は若い世代の力が大切であると考えている。
11	8	2	一人一人が自分らしく活躍し協力して課題解決を目指す地域	○役割分担の細分化・担い手不足により，地域の連携・協力が難しくなってきている。担い手の育成や意識改革が早急に必要であると思う。
18	12	2	一人一人が自分らしく活躍し協力して課題解決を目指す地域	○核家族化・単身世帯等が増え，家族が担ってきた機能や役割の発揮が難しくなっており，過疎化による支え合い困難，他者への無関心，非干渉，過度なプライバシー保護の意識等により互助意識も育ちづらくなっている。このため，まずは地域での愛の声かけ，挨拶運動を進めることが必要と考える。

意見No.	受付No.	関連する目指す地域像		寄せられた意見
19	12	2	一人一人が 自分らしく活躍し 協力して課題解決を 目指す地域	○町内会，市民委員会，各民児協，地区社協，保護司会などは担い手不足（高齢化・固定化）の課題を抱え，ており，特定の目的のため活動している地域団体・サークル･ボランティア団体･ＮＰＯ法人では人材不足に加え，資金や活動拠点の確保もある。このことから，互いの団体間での情報共有や信頼関係を構築し活動することが重要である。 ○担い手の確保に当たっては，地域住民の声に基づく「自分がやってみたい活動」を行うことが大切であり，また広く住民協働の意義を共有するとともに，計画的に次世代を担う層が役員になるような対応等が必要と考える。
20	12	2	一人一人が 自分らしく活躍し 協力して課題解決を 目指す地域	○地域には，暮らしを守り，地域を創ることに前向きに挑戦している町内会等があり，地域住民はこれらの活動への参加を通して，人々のつながりを強めるための努力することが重要であり，私たちが協力して行うその努力を皆が誇りに思うべきである。 ○つながりの希薄化や地域が抱える課題を踏まえ「地域の崩壊」と言い立てるのではなく，「世話焼き（縁のある）社会」をつくるために，地域において営々と積み上げてきたことを大切にし，細かく切れ切れになりつつある，つながりの糸を紡ぎなおすための取組を続けることが大切と考える。
21	12	2	一人一人が 自分らしく活躍し 協力して課題解決を 目指す地域	○地域福祉の目指すものは，どんなに要援護状態になっても住み慣れた自宅や地域で安心・安全に，またその人らしく生きることができるよう地域住民と関係者が協働することと認識している。その中で，自助が弱まり（公助への依存），共助が後退し（地域住民の無関心），公助が自助と共助を置いてきぼりして，３者の歯車が合っていないことに課題を感じる。 ○これらのことを踏まえ，ニーズが見える唯一の圏域である，ご近所を中軸に据えた地域福祉活動の実施と各圏域ごとの各種活動の推進体制づくりが重要であると考える。
13	10	3	誰一人取り残さず 困りごとに 寄り添う地域	○独居高齢者世帯の除雪支援を近隣で調整したことがあり，以後見守りを心掛けている。地域の心配な世帯の見守りや，然るべき相談機関へのつなぎの促進には，町内会と民生委員などの協力が大切であり，地域福祉の担い手同士の連絡先の把握など基本的な体制を整えることが重要である。

意見No.	受付No.	関連する目指す地域像		寄せられた意見
14	10	3	誰一人取り残さず 困りごとに 寄り添う地域	○見守られる側の気持ちを尊重することも重要であることから（見守られたくないという人もいると思う），見守りの方法も一律ではなくその人にあった対応が必要であり，そのことが見守りの難しさであると言える。
22	12	3	誰一人取り残さず 困りごとに 寄り添う地域	○少子高齢化・無縁社会化による生きづらさ等が増大し，福祉制度の隙間や外側に生活・地域・社会全体の問題が顕在している。公的福祉で対応できる範囲には限度があるので，特に制度の隙間等のニーズを埋める自助・共助の推進が，私たちの生活の安心のよりどころの一つとなりうる。 ○このことから，相談機関等の専門的支援と家族やコミュニティの協力による支援や取組の実施や，住民やボランティアなどの創意工夫によるインフォーマルな支援の構築，さらに企業や福祉事業所による見守りなどのネットワークを構築することが必要と考える。
23	12	4	みんなが健康で 安心・安全に 暮らせる地域	○地域で防災力を高めるための取組が形骸化しているように感じる。防災の観点から自らの地域の現状を把握する地域診断（地域の危険箇所の洗い出し等）や，自らの地域で起こりうる災害についての学び（洪水ハザードマップ等による災害リスクの把握等）等を実践し，その後評価・見直し・継続のサイクルをこなすことが求められる。 ○その外，地域における避難時のルールの整備（避難時に，避難先を隣近所等に連絡する）等に努めるなど，日頃から自助・共助力を高めつつ，地域全体で防災意識を高めることが重要である。
2	2	―	全般・その他	○地域福祉の担い手だけではなく，一人一人の問題として捉えてもらうために，全ての市民から計画に対する意見をもらう必要があるのではないか。

意見No.	受付No.	関連する目指す地域像		寄せられた意見
4	3	―	全般・その他	○具体的な地域活動を進めていく上での指針が示されるとよりよいと思う。
6	4	―	全般・その他	○完成した計画を,若い世代に見てもらえるように啓発に努めてほしい。
7	5	―	全般・その他	○市と市社協が一体となって計画を作るのであれば,問合せ窓口がどこであるかを明確に示すべきである。また,地域福祉への意見聴取に当たっては,事前の説明をより丁寧に行う必要があると考える。
8	6	―	全般・その他	○市と市社協が一体的に計画を策定するのは良いと思う。担い手不足であることからも,市が求めることと市社協が求めることを整理して,取組を行っていくことが重要と考える。
9	7	―	全般・その他	○自分もわずかであるが福祉のお手伝いをしている。一人の小さな声が届く身近な福祉を実現することが大切である。そして, これからも市民に誇れるまちづくり推進協議会であるよう今後も努めたいと思う。
10	8	―	全般・その他	○地域福祉の担い手だけではなく,一人一人の問題として捉えてもらうために,全ての市民から計画に対する意見をもらう必要があるのではないか。

意見No.	受付No.		関連する目指す地域像	寄せられた意見
12	9	―	全般・その他	○現状や課題がわかりやすく,解決に向けた方向性もそのとおりだと思う。市民・地域活動団体として取り組むべきことはたくさんあると考えを新たにした。主体的・能動的に捉える姿勢で計画推進に努めたいと強く思う。今後も市や市社協による研修実施その他支援についてお願いしたい。
15	11	―	全般・その他	○プライバシーの保護の立場から，情報の開示が消極的で地域に伝わっていきにくい。また，当人の家族（同居していない子どもなど）からも情報提供があれば，町内での取組に生かすことができる。
16	11	―	全般・その他	○施設入所者を含め，その人なりの生きがい，意欲を持たせることが重要である。